

# 令和8年度予算案のEBPM「こども家庭科学研究費補助金等」

## 課題データ

多様化するこども家庭分野における諸課題に関して、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図る必要がある。そのためにも、研究開発の評価に当たっては、行政施策との連携を保ちながら、研究開発活動と一体化して適切な評価を実施し、その結果を有効に活用して、柔軟かつ競争的で開かれた研究開発を推進しつつ、その適正な運営を図ることが必要な状況である。

## 事業

### こども家庭科学研究費補助金等 (こども家庭行政推進調査事業費補助金を含む)

令和8年度当初予算案：11億円

- ①こども家庭科学研究費補助金：国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、こども家庭分野の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。(定額補助)
- ②こども家庭行政推進調査事業費補助金：国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。こども家庭科学研究のうち、行政的緊急性が高いものや専門的・学術的観点等から研究を実施するものを指定する研究について、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、こども家庭分野の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。また、国立研究開発法人日本医療研究開発機構が医療分野研究開発推進計画に基づき、大学等の研究機関の能力を活かして行う医療分野の研究開発の助成等に要する費用に係る補助金を交付するもの。(定額補助)

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

### アウトプット

こども家庭分野の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究を実施する者への補助及び補助金交付主体への補助の採択件数  
(34件)

### 短期 アウトカム

毎年度の研究計画の達成度等に係る専門評価において、通常期待される評価(総合評価で「不十分な成果となった課題がなく、計画どおり十分な成果が得られた」以上)を得ること

### 中期 アウトカム

—

### 長期 アウトカム

年度終了課題の研究開発成果のうち、国の施策や学会のガイドラインの策定等に反映されること(成果指標③：施策への反映件数(普及啓発や法律作成につながった件数))(30件)

## EBPM指標

## 目標

こども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み